

地方創生総合戦略 通信

第10号（平成27年9月18日 配信）

第8回策定本部会議開催

9月18日（金）、第8回目の策定本部会議を開催し、「「ひと」「しごと」創生部会提案戦略に関する事業確認調書の提出について」の協議を行い、9月30日までに調書を提出し、第9回策定本部会議（10月5日）において議論することとした。

また、「「少子化社会対策大綱の具体化に向けた結婚・子育て支援の重点的取組に関する検討会」提言」「北海道人口ビジョン・北海道創生総合戦略（素案）の概要」「人口減少対策に係る市民アンケート調査結果」についての情報の共有を図った。

《人口減少対策に係る市民アンケート調査結果の概要（抜粋）》

○調査対象

平成27年4月10日現在の住民基本台帳に登録されている18歳から39歳の方の中から無作為に抽出した1,200人

○調査期間

平成27年4月20日～5月1日

○回収状況

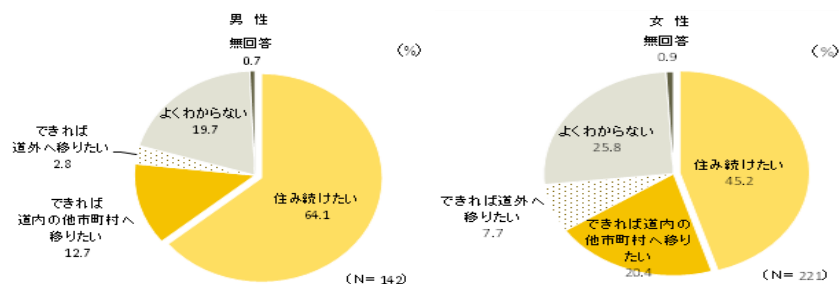
発送数：1,200件 回収数：363件（回収率30.3%）

○アンケート結果の概要

◆富良野市に住み続けたいか

富良野市に住み続けたいかとたずねたところ、男性では64.1%、女性では45.2%が住み続けたいと回答している。男性と比べて、女性で他の地域に移り住みたいという意向が高く、将来女性の定住を検討していく上で重点的に解決を図る点といえる。

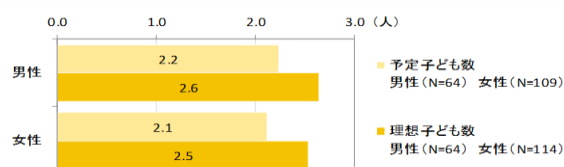
図表● 富良野市に住み続けたいか



◆結婚・子育てについて

配偶者のいる方、配偶者と離別・死別した方に、現在持っている子どもの数と将来持つ予定の子どもの数を足した「予定子ども数」をたずねたところ、男性では2.2人、女性では2.1人となった。さらに、子育ての際の障害が全くなかった場合、理想として持ちたい子どもの数についてたずねたところ、男性では2.6人、女性では2.5人となった

図表● 予定子ども数、理想子ども数



予定子ども数が理想子ども数を下回っているがその理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が73.2%と非常に高い回答数になっている。次いで「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」「高齢で産むのは難しいから」となっている。